

企業建設委員会視察 福岡市・沖縄県

平成25年11月6日(水)～11月8日(金)

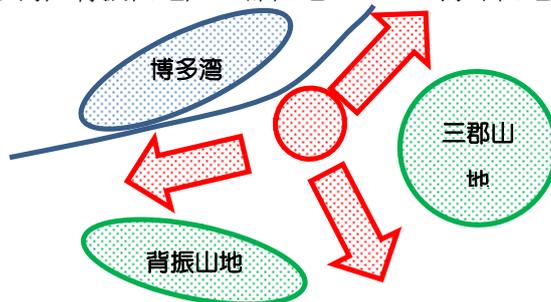
1. 福岡市役所 (11月6日(水) 13:30～ 15:00)

道路下水道局、市民局

◎福岡市における自転車道通行環境整備と放置自転車対策について

<自転車道>

- ・福岡市は、年間1万数千人ずつ人口が増加しており、平均年齢**41.9歳**、人口**150万人**
- ・博多湾／背振山地／三郡山地の三つの海や山地の間に挟まれた**Y軸状**に都市部が発展。



- ・通勤通学の自転車利用者は平成2年(12%)から平成22年(20%)に増加。
- ・自転車事故が急増している。
- ・2012年3月27日～5月21日の期間で自転車レーンを設置する社会実験を行った。
- ・自転車レーンの設置について、肯定的な意見が多かった。
- ・課題は路上駐車と自転車の逆走。
- ・H25年～34年度にかけ、10年間で自転車道をネットワーク整備する。(整備延長は90km)
- ・通行環境については条例を制定し、安全利用を推進する。

<放置自転車対策>

- ・法事自転車対策予算

区分	平成25年度	平成24年度
放置自転車対策関連経費	11億3450万円	11億3990万円
駐輪場整備費等	7億7800万円	3億4750万円
自転車通行空間関連費	1億8000万円	1億8000万円
合計	20億9250万円	16億6740万円

* 放置自転車対策関連経費に含むもの

(駐輪場整備8.2億+放置自転車撤去9200万+モラル・マナー啓発1.4億 等)

- ・放置自転車台数／放置率

平成16年(15920台／27.9%)→平成24年(6482台／10.5%)

目標は、平成28年度までに、放置率10%に。

- ・駐輪場整備

市営駐輪場 51,618台

路上駐輪場 1889台(天神)+1055台(博多)+3138台(その他) = 6082台

官民合築駐輪場 1015台

民間事業者 45,018台

合計すると、103,733台

- ・民間事業者と共同で啓発のキャラクター「チャリ・エンジェルズ」結成。
- ・社会実験により、地下駐輪場の割引など

<福岡市自転車の安全利用に関する条例>

- ・平成24年12月21日に議会で成立、平成25年4月1日より施行
- ・「市民の交通安全の確保と自転車の利用促進に寄与する」ことが目的
- ・「押し歩き推進区間」の設置
- ・販売業者への責務（購入者への周知など）
- ・学校長への責務（小中学校は安全教育の義務、中・高校は自転車運転免許証交付）

所感

- ・自転車道のネットワーク整備は、かなりの範囲をカバーできる模様。平たん部での自転車のみでの移動が可能か？神戸では思い切った施策が必要と思われる。
- ・駐輪場は、かなりの規模で整備されている。こちらも思い切ったことが必要と思う。

2. 沖縄県 沖縄県庁（11月7日（木）10:00～11:30）

<バス利用促進に向けた取り組み>

- ・沖縄では、鉄道網もないことなどから、自動車利用者が非常に多い。

	H01	H20
自動車	55.1万台	95.1万台
バス	6.7千万人	2.9千万人

- ・公共交通利用率は、**4%(全国平均30%)**

・H19年3月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」ができ、協議会を設置した。その後、計画案を作成。

- ・H21年3月に計画案が信任されず、再度協議に。

・H22年に、**PI (Public Involvement パブリック・インボルブメント) ***を実施、**4000人の対象者から6割の肯定意見**をもらう。

*PIとは・・・施策の立案や事業の計画・実施などの課程で、関係する住民や利用者などに情報を公開した上で、広く意見をお聞きし、それらに反映することを言います。

・**3本の基幹バス路線を整備**することを決定。58号、329号、330号のバス路線。機関の路線を中心に支線を整備していく。

- ・**一括交付金**を活用して公共交通利用改善事業を実施する。

IC乗車券システム導入（H25～H26）

バスロケーションシステム導入（済・運用開始）

多言語公共交通検索システム導入（済・運用開始）

ノンステップバス導入（年間40台）

広報活動（H25～）

- ・広報活動 **「わった～バス党」**設立

沖縄のタレントユウリキヤを広報のキャラクターに採用、党首・幹事長とし、ラジオパーソナリティをビジネス対策委員長に起用、バス利用のマニフェストなど、ユニークなアイデアでバス利用の促進を図る。

Q：民間4社の収益状況は？ A：3社が赤字 他の観光バス等の事業で補てん

Q：「おかえりバス券」を配布しているが、結果は？ A：3割が使用した。

Q：沖縄の人は、飲みにとか出たらどうやって帰りますか？

A：バスが11時半くらい。それを過ぎることが多いので、タクシーで帰っている。

Q：バスの料金は？ A：那覇市～名護市 ¥2300 那覇市内は¥200均一

所感～

- ・「わった～バス党」は、おもしろい試み。海岸線でこれくらい経費をかけてやるべき。

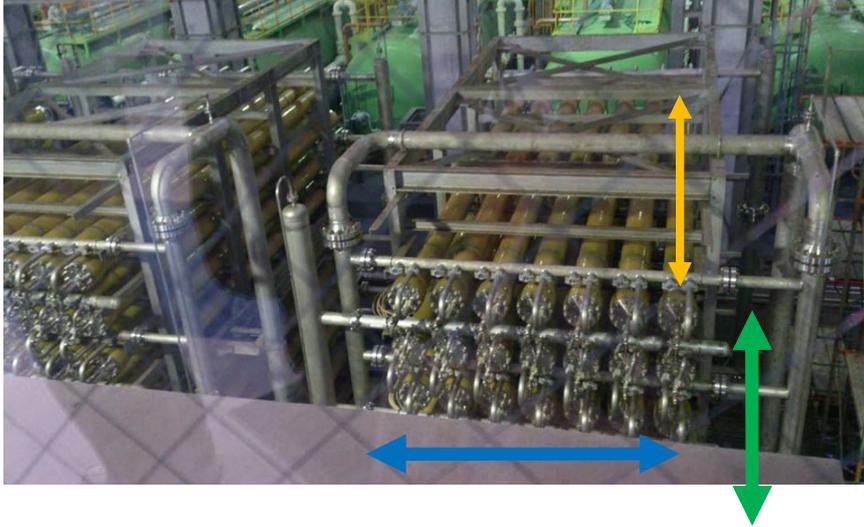
- ・バスロケーションシステムは、バスの実際の状況が携帯で確認できて便利。神戸でも導入を検討してもらいたいと思う。

- ・居酒屋さんとかに「おかえりバス券」を試行配布しているが、海岸線でお酒やワインと絡めたイベントを行って、「海岸線でおかえり券」を配布してみてもいいかも。

3. 沖縄県 北谷 海水淡水化センター（11月7日（木）14:00～16:00）

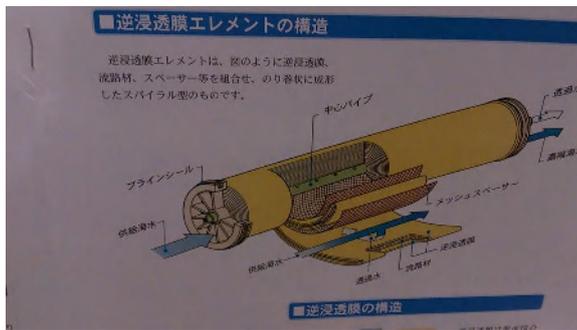
<海水淡水化センター>

- ・海水淡水化センター 淡水化の心臓部の逆浸透膜ユニットの部分です～



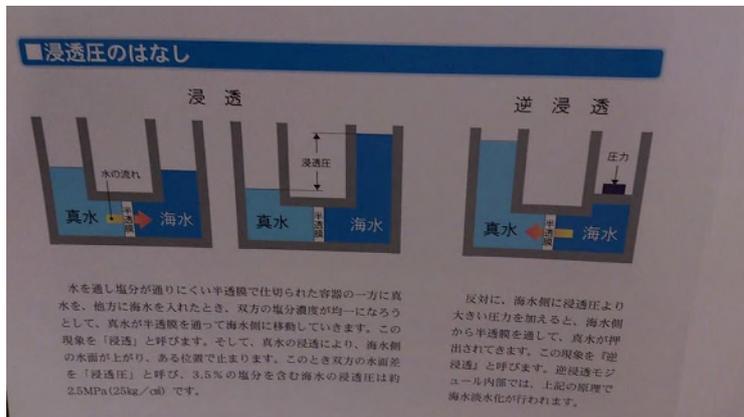
ユニットは、下図に示す逆浸透膜エレメントが

直列に6本（上図黄色）で1モジュールが63モジュール {7列（青色矢印）×9段（緑色矢印）} が集まって1ユニット。

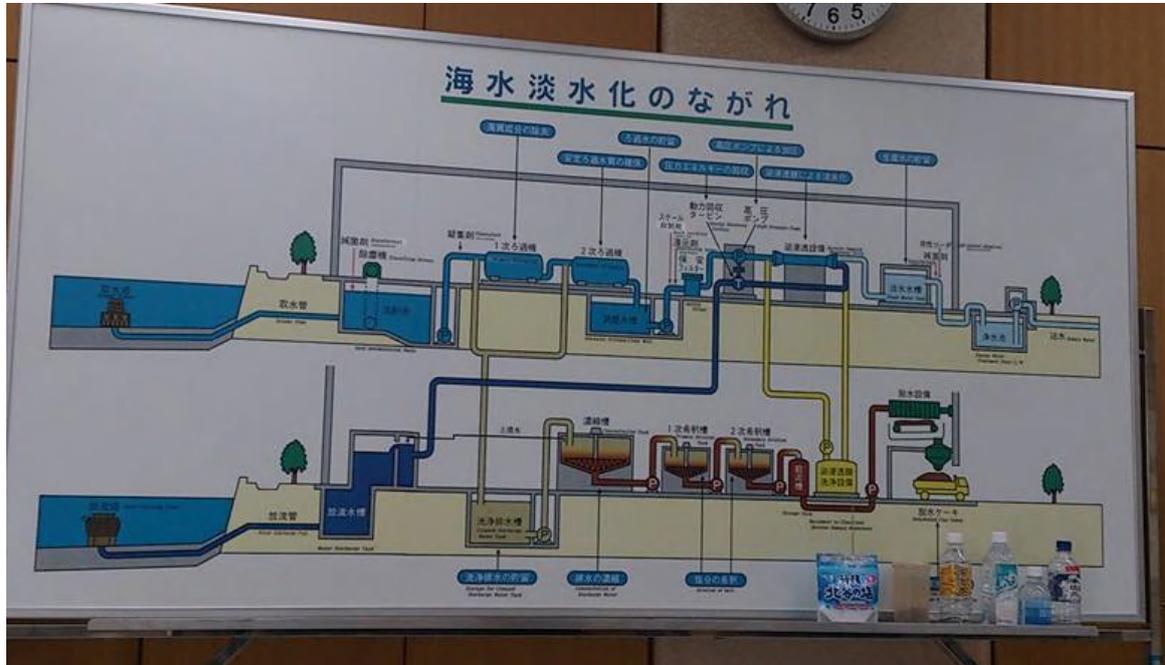


全部で8ユニットあります。東レが6と日東が2ということ。

- ・下図は、逆浸透膜の原理的な図です。水は通すけど塩は通さない膜の片方に真水、片方に海水を入れ、海水側に圧力をかけて真水を取り出します。**60kg/cm²** かけないといけないそうです。



- ・全体図。圧力をかけて、膜の向こうに水が出ていった後の海水は、塩分が濃くなりますよね？この海水は、再び海へ放流されます。



- ・コストについて
- ・沖縄は、水道の80%がダム、12%が河川7%が地下水、残り1%が、こちらの淡水化センターによるものです。数年前、渇水で大変だった年は、フル稼働の4万 m³ の運転で、取水制限もなく助かったそうですが、コスト面でフル稼働は難しいため、5000m³ の管理運転で供給しているということです。これは、1ユニット分に相当しますが、フルの8ユニット、4万 m³ でのランニングコストが1m³ あたり170円。ダムなどでは、100円程度のため、コスト面で、管理運転にならざるを得ない状況。

今後、膜が技術革新され、更に低圧力での浸透が可能になったりすれば、コスト面で稼働率を上げられるかも、ということでした。

設置の初期投資は347億円、85%の政府補助で建設、その後は補助なしで運営されているそうです。

4. 沖縄セルラースタジアム (那覇市立奥武山体育施設)

(11月8日(金) 10:00~11:30)

<沖縄セルラースタジアム>

- ・スタジアムは、できて間もないため、大変美しい。天然芝であるが、搬送の車の出入りの部分のみ人工芝を入れている。

- ・ブルペンは室内にあって、3人の投球練習ができる。
- ・毎年、巨人軍が春先にキャンプを訪れるということだが、ぎりぎりまではっきり予定が決まらないため、毎年苦心するとのこと。
- ・プロ野球の公式戦は、1，2回程度で、後はキャンプ中にオープン戦が行われている。
- ・その他は、高野連が高校野球の予選に使用するほか、自主トレや大学野球部のキャンプなど。
- ・指定管理者制度によってNPOが運営しており、開催行事を増やしていくよう指導され、草野球大会などが開催されている。

<室内型運動場>



- ・隣接する屋内型の運動場は、1階のアリーナが57m×66mと室内では広く、人工芝が敷かれている。
- ・幼稚園の運動会や、フットサルの練習など、人気が高く、利用人数が多い。
- ・設置は、米軍の人も使用可能な体育施設、とかの予算で10億円で建てられている。
- ・こういう施設が各区にあれば便利と思う。体育館ではなく運動場。